

部局名	都市整備部	所属名	都市計画課	所属長名	大河内 義昭	電 話	483-1151 内線3510
-----	-------	-----	-------	------	--------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード		4054		事務事業名称		公共交通対策事業						短縮コード		経常	4054		臨時	4055			
予算区分		会計	01	一般会計			款	08	土木費			項	04	都市計画費			目	01	都市計画総務費		
区 分		☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他					根拠法令等		八千代市交通問題協議会設置条例 八千代市バス体系検討委員会設置要領 八千代市バス運行対策費補助金交付要領												
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）																					
①昭和46年に、本市の交通問題に関する調査、研究及びその対策について協議することを目的に設置。 ②平成8年、東葉高速鉄道の開通に伴って市内のバス体系が見直されたことを契機に、バス交通に関する調査・研究及びその改善を図ることを目的に設置。 ③平成14年2月に道路運送法が改正され、乗合（路線）バス事業の需給調整規制が撤廃されたことから、平成14年度より実施。																					
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測							総合計画の 施策体系	5本の柱（章）		04	快適生活空間都市をめざして										
不採算路線の存否に関する検討が進み、バス事業者から退出の意向が示される案件が減少してきたが、今後も休・廃止を含め、バス路線の再編が進むことが予想され、自治体の交通政策のビジョンの明確化が求められている。また、公共施設循環バスのコミュニティバス化への検討に伴い、路線維持に係る補助制度の廃止が考えられる。								大項目（節）		01	交通										
								中 項 目		01	総合交通										
										02	公共交通										
								小項目（施策）		01	総合交通機能の形成										
										02	バス輸送の充実										
								細 項 目		99											
										01	バス路線網等の整備・充実の要請										
							実施計画の 計 画 事 業		4103	ノンステップバス導入助成事業											
計画事業の位置付けの有無					☐	計 画 事 業 期 間		昭和46年10月 ～				計 画 事 業 費		千円							

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	①市内公共交通機関に関する諸問題 ②バス交通に関する諸問題 ③バス事業者から休・廃止の申出があった市内バス路線						
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成18年度に実際に行ったこと： ①②協議会・検討会は開催しなかった。 ③バス事業者より退出の意向が示された路線の維持のため、印旛村及び国・県と協調で補助金を交付した。						
	※平成19年度に計画していること： ①協議会の開催・検討会の開催。 ②公共施設循環バスのあり方を検討する。						
意図 （何を狙っているのか）	①市内公共交通機関に関する諸問題を改善または、解決する。 ②市内を運行する路線バスや公共施設循環バスに関する諸問題を改善する。 ③生活交通路線を維持する。						
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	市民の交通利便性の確保・維持						
区 分			単位	1 7 年度	1 8 年度		1 9 年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	協議会で検討した諸問題の数	件	0	1	0	1
	指標 2	検討会で検討した諸問題の数	件	0	2	0	2
	指標 3	休・廃止の申出系統数	系統	1	1	1	0
活動指標	指標 1	協議会の開催回数	回	0	1	0	1
	指標 2	検討会の開催回数	回	0	2	0	2
	指標 3	補助金額	千円	5, 925	6, 000	6, 406	0
成果指標	指標 1	協議会で結論を出した諸問題の数	件	0	1	0	1
	指標 2	検討会で結論を出した諸問題の数	件	0	2	0	2
	指標 3	補助対象路線沿線におけるバスが便利だと感じている住民の	%				
上位成果指標	指標 1	鉄道が利用しやすいと感じている市民の割合	%			59. 9	
	指標 2	市内のバスが利用しやすいと感じている市民の割合	%			38. 2	
	指標 3						

コード	4054	事務事業名称	公共交通対策事業				所属名	都市計画課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			協議会・検討会の統合検討 バス運行対策補助金交付対象路線の東洋バス岩戸線は平成１８年１０月１日から運行を休止している。			
		☒ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止								
☐ 休止								
☐ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			平成１８年１０月以降，代替手段をもって生活交通を確保することを前提に，１８年度で岩戸線に対する補助を打ち切ることで関係者の協議が整った。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☒	☐	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
②交通不便地域の住民からのバス路線の充実や、公共施設循環バスのコース変更、増便などが求められている。 ③休・廃止路線への行政としての交通利便策を講じてほしいとの意見が出ている。	

所属長コメント	都市交通は都市施設と同様な重要施策であるが，路線バスや循環バスの運行に関わる業務は交通対策課に配置が望ましいのではないか。	
評価調整委員会意見	☒ 改革改善して継続	積極的に推進すべき。
	☒ 手法プロセスの改革・改善	
	☐ 事業規模の拡大・縮小	
	☐ 統合・役割見直し	
☐ その他		
☐ 廃止		
☐ 休止		
☐ 現状のまま継続		